



2005.10.15
三国川ダム管理所発行

ダムっ湖



紅葉真っ只中のしゃくなげ湖に遊びに来ませんか?



りっちゃん

さぐり博士

さぐくん

しゃくなげ湖では、遠くの山々が色づき始め、ススキの穂が風になびいています。抜けるような青空と、秋風を心地よく感じられる頃となりました。

これからしゃくなげ湖は、遠くの山の方から毎日少しずつ少しずつ秋色に染まって行きます。しゃくなげ湖が色とりどりの紅葉に包まれる頃には、越後三山にも初冠雪がみられるようになります。

十字峡では溪谷と木々の紅葉が美しく、またダムから眺める景色は、紅葉に包まれるしゃくなげ湖と山々が一望でき、秋の景色を楽しむことができます。また、トレッキングやサイクリングなどにも最適の季節です。

是非しゃくなげ湖に足を運んで紅葉を楽しんでみてはいかがでしょうか。ダムの監査廊も11月30日まで公開しています。



三国川ダム下流に清流復活

～民間発電所と直轄ダムが連携した水環境の改善～

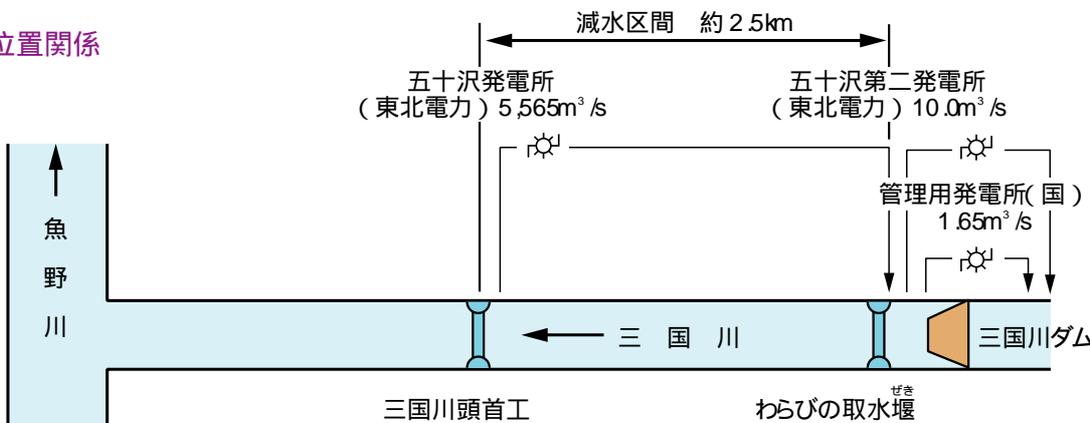


三国川ダムでは、ダム直下流の発電所と連携し、同発電所からの発電取水に伴い無水・減水となっている区間の水環境を改善することを目的として、8月2日より毎秒0.5m³/sの試験放流を開始しました。

この試験放流は、ダム直下の発電取水に伴い全く水が流れないか、又は水量が減少した区間に、川としての水環境(魚の生息環境、川らしい景観、異臭発生の防止等)を確保するものです。

これまで、洪水の発生の恐れがないときに洪水調整容量の一部に水環境改善のための水を - 時貯留し、その水を利用して行っていましたが、三国川ダムでは洪水が頻発するために水環境改善のための一時貯留が行えない状況が続いておりました。このため、ダム下流及びダム併設発電所が同一事業者であることに着目し、これに三国川ダムの管理用発電所に加え、それぞれの発電所の運用方法を見直すことで、安定的に下流河川の水環境を改善する試験放流を実施中です。

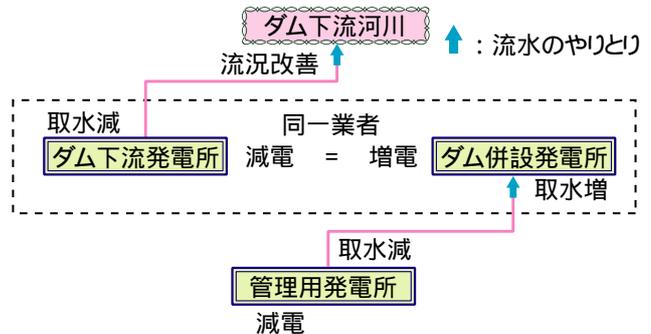
1 位置関係



2 発電模式図

(発電運用方法)

ダム下流五十沢発電所は、水環境改善に必要な水量を取水しない。
 同発電所で取水しないことによる減電分を三国川ダムに併設した五十沢第二発電所が増電取水する。
 その増電取水に必要な水量は三国川ダム管理用発電所が取水量を減ずる。



ダムへ流れ込む流木のリサイクル ～薪材を希望者へ～

三国川ダム管理所では、ダム湖(しゃくなげ湖)へ流れ込んでくる流木を資源の有効利用と環境保全の観点から新に加工し、下記のとおり希望者の方へ無償配布する事としました。(100m³程度)

- 日時：平成17年10月26日から薪材がなくなるまで。
- 場所：三国川ダム流木ヤード(三国川ダム上流オートキャンプ場)
- 配布方法：現地は無人ですのでご自由にお持ち帰り下さい。

- ・薪材は1m程度に切り揃えてあります。
- ・業務用等大量のお持ち帰りはご遠慮下さい。
- ・現地案内看板の指示に従い、事故等には充分ご注意下さい。





パート3 ~完結~



前号までのあらすじ

三国川ダム管理所では、毎年6月1日から9月30日までの洪水が起こりやすい期間中は、洪水を防ぐため、24時間いつでもダム・ゲート等の操作を行えるように当番制で対応しています。

ある日の当番であったさぐくんが、深夜の大雨による洪水の対応にあたる事になりました。

(詳しくは、ダムっ湖Vol.9・10をご覧ください。)

依然、雨が降り続いており、ダムに流入する水の量も増え、ダムの水位も上昇しています。

レーダー雨量を見ると、数時間先には雨は小康状態になる見込みであり、さぐくんは一安心しました。

やがて雨も弱まり、ダムに入ってくる水の量も減少し、ピークを過ぎました。

しかし、これでさぐくんの仕事は終わりではありません。

すぐに次の洪水に備える為、洪水を調節してたっぷり貯まったダムの水を、洪水調節前の水位に下げられるために、ピーク時におけるダム下流への放流量を維持しながら、ダムに入ってくる水が減少してからも放流を継続(1)していきます。

やがて、ダムの水位も低下してきました。

通常のダムの姿に戻るまでには、関係機関との連絡・ゲートの操作とやる事があります。

ようやく通常の水位に戻りつつある状態までたどり着き、ゲート操作もダムから放流する水の量を減らす為の最終段階に入りました。

さぐくんは細心の注意を払い、規則に従いながら徐々にゲートを閉め、下流へ放流する水の量を減らしていきます。

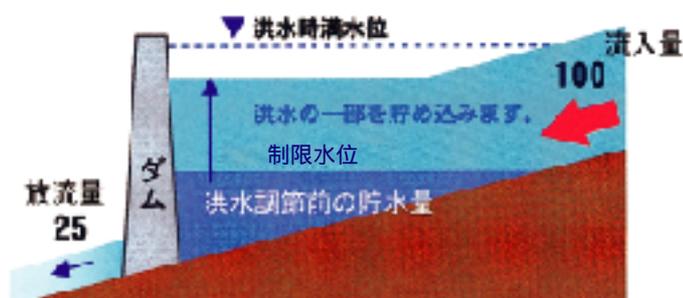
夜が明ける頃、ダムに流入する水 = ダムから放流する水(2)となり、ようやくいつもの三国川ダムの姿に戻り、さぐくんのダム当番業務は無事に終了を迎える事が出来ました。

洪水調節容量

洪水期(6月1日～9月30日)は、ダムの水位は制限水位を保って管理しています。

洪水時には、洪水時満水位(EL.432.00m)－制限水位(EL.399.50m)＝18,000千 m^3 の容量を、洪水調節容量として洪水を貯めるために空けておきます。

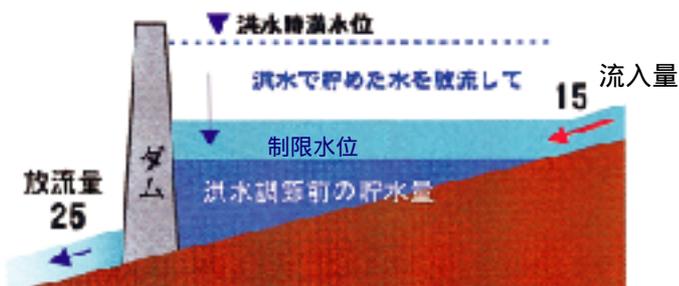
洪水の時、ダムから流す水の量(操作規則に定められた流量)は、ダムに入ってくる水の量よりも少なく放流し、残りの量をダムに貯め込みます。



1ダムに入ってくる水が減少してからも放流を継続

洪水が収まった後は、次の洪水に備えて、洪水の前の状態に戻すため、ダムの水位を制限水位まで下げます。

そのため、洪水のピーク時の放流量を継続して放流します。

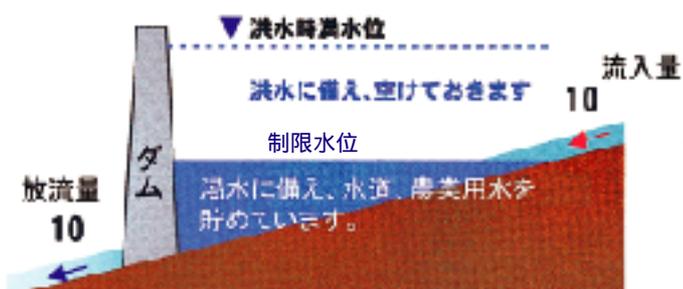


2ダムに流入する水 = ダムから放流する水

洪水に備えて、制限水位より高くないようにしています。

渇水時は、水道や農業用水等のために、貯めた水を放流します。

そのため、ダムの流入量より放流量は多くなる場合があります。



④

「三国川源流紅葉ウォーク」のご案内

「三国川源流 紅葉ウォーク」を次のとおり実施いたしますので、参加希望者を募集します。

前回7月末に行った、しゃくなげ湖畔を楽しむ会共催「三国川源流ウォーク」に引き続き実施するもので、三国川源流の紅葉を歩き、楽しんでいただきます。

1. 募集要項

- 1) 日 時：平成17年10月23日(日曜日) 9:15～15:30
- 2) 集合場所：三国川ダム上流十字峡親水公園 受付 9:00～
- 3) 解散：奥五十沢観光振興管理センター 15:30～
- 4) 参加費：1人1,000円
- 5) 募集人員：30名程度(小学生以下は保護者同伴に限ります。)
- 6) 募集方法：「三国川源流 紅葉ウォーク参加」とし、氏名、住所、連絡先及び年齢を記入していただき、問い合わせ先までFAX願います。



「三国川源流 紅葉ウォーク」のパンフレットにて、必要事項を記入していただき応募する事も可能です。

2. 実施内容

- 1) ダム上流の十字峡をスタートし、三国川上流の「内膳落合」まで往復します。
- 2) 「内膳落合」で軽食し、管理センターにて「焼肉会」を行います。
- 3) 昼食は各自持参、小雨決行です。
- 4) 天候により、実施内容が変更になる事がありますが、その場合にはご了承願います。

主催 「魚沼みどりの会」「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」

問合せ先 FMゆきぐに 担当：長尾 TEL 025-778-1500 FAX 025-778-1511

「しゃくなげ湖畔を楽しむ会」事務局 担当：(社)北陸建設弘済会 湯沢支所内 板鼻

TEL 025-784-1575 FAX 025-784-1576



ラジオで三国川ダムをPR(長岡市で営業活動)の巻

去る8月12日(金)長岡市を中心に情報配信を行っているラジオ局のFMながおかさんへ、総務係長と電気通信係員の二人が主演してきました。二人が出演した番組は、毎回いろいろな一般の方をゲストに迎えるトーク番組で、最初は緊張していた二人ですが、番組の進行と共に雰囲気慣れ、三国川ダム周辺のイベントや紅葉などの魅力を存分にPRして来ました。(二人の魅力も伝わったと思いますが...)

「しゃくなげ湖だより」FMゆきぐに(76.2Mhz)で発信中!



毎週火曜日の午前9時40分～9時50分までの10分間、FMゆきぐに(76.2Mhz)で「しゃくなげ湖だより」という番組を放送しているのを皆様ご存じでしたか?

この番組の内容は、三国川ダムに関する情報、ダム周辺情報及び地域に関する情報と話題盛りだくさんです。

「しゃくなげ湖だより」の番組を担当していただいている、長尾ユミアナウンサーから、毎回軽快に情報を発信してもらっています。

放送期間は6月～11月まで放送しておりますが、ご存じではなかった皆様、是非この機会に「しゃくなげ湖だより」をお聞きいただき、三国川ダムの魅力について知っていただければ幸いです。

編集後記

暑かった夏もようやく過ぎ、季節はもうすっかり秋って感じになりました。さて、「雨の夜」と題して9号から今号まで3回シリーズで、三国川ダムの洪水時の対応についてお送りしてきましたが、いかがでしたでしょうか。これからも、三国川ダムの情報を解りやすくお伝えしたいと考えております。紙面の内容にかかわらず、ご意見、ご質問、ご感想などがありましたら、お気軽にお寄せ下さい。Eメールでも受け付けておりますので、ご活用下さい。

(Eメールアドレス: sagur@hrrm.lit.go.jp)

(編集部一同)

編集・発行

国土交通省北陸地方整備局
三国川ダム管理所

〒949-6741
新潟県南魚沼市清水瀬 686-59
TEL(025)774-3015
FAX(025)774-3092
http://www.hrrm.lit.go.jp/saguri/



シャッピー